



日本ロシア語教育学会 第1回研究集会 2021



第1部 基調講演 (13:00～14:30)

「バイリンガル教育としての外国語教育： Can-Do、タスク、トランス・ランゲージング」

湯川 笑子先生 (立命館大学文学部特命教授)

〔質疑応答〕

第2部 研究報告 (14:45～16:45)

1. Борисова Анна (Осацкий университет)
Диалог-сотрудничество на занятиях по русскому языку как иностранному: Опыт хронологического анализа
(ボリスワ・アンナ, 大阪大学 「外国語としてのロシア語授業における協働対話 ―クノトポスの視点からの分析の試み―」)
2. 佐山 豪太 (上智大学)
「派生接辞を用いた語彙の学習効果
～授業前後の確認テストを通じて～」(仮)
3. 遠藤 雅公 (札幌丘珠高等学校), 鈴木 桃子 (旭川南高等学校),
依田 幸子 (札幌国際情報高校), 横井 幸子 (大阪大学)
「ICTを活用した日露交流とロシア語の学びについて」文科省「教員養成機関等との連携による専門人材育成・確保事業(グローバル化に対応した外国語教育推進事業)」報告

総会 17:00～18:00

日時

2021年

12月5日(日)

13:00～18:00

場所

ZOOM
(オンライン)

参加には事前登録が必要です
(11月30日(火)まで)。

詳細につきましては、
右QRコードまたは
下記URLをご参照ください。



講師紹介



湯川 笑子 立命館大学文学部特命教授

Ph.D (ストックホルム大学 Centre for Research on Bilingualism)

M.A. (ハワイ大学 English as a Second Language)

滋賀県の高校教諭職をへて、1998年より京都ノートルダム女子大学、2005年より立命館大学文学部勤務、現在に至る

専門は英語教育とバイリンガル教育

学部および大学院で中高の英語教員養成をしつつ、立命館大学付属校、近畿の公立・私立の小中高の英語教育改善の指導に携わっている。研究では英語教育、英語教員養成の他に、言語喪失、英語を媒介とした大学の専門科目教育(EMI)、日中韓3言語を育てるキャンパスアジア教育など、バイリンガル教育関連の諸事象を扱う。

最近の業績：

・『新しい教職教育講座 初等外国語』ミネルヴァ書房
2018年 編著

・異文化間教育学体系『異文化間教育のとりえ直し』
2016年 共著

『トランス・ランゲージング』再考—その理念、批判、
教育実践— 『母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)
研究』17号 共著(共著者：加納なおみ)など

参加ご希望の方は、11月30日(火)までに下記のURLから事前登録をお願いします：

https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZcvd-iopzqwqH9e_Ch1KSUcgclALZsPEcDed